

1月14日の基準価額の下落について

2025年1月14日に基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドについてお知らせいたします。

【該当ファンド】

ファンド名	基準価額 (円)	前営業日比 (円)	前営業日比 騰落率
パインブリッジ厳選インド株式ファンド	14,392	-844	-5.54%

【市場動向】

	1月9日	1月13日	騰落率
MSCIインド株式指数	2,813.40	2,723.76	-3.19%

上記については、基準価額への反映を考慮しています。

	1月10日	1月14日	騰落率
インド・ルピー（対円）	1.85	1.83	-1.08%

為替レートは三菱UFJ銀行の対顧客公示相場の仲値（TTM）、単位は円です。

<下落について>

14日の当ファンドの基準価額は、週明け13日（日本は祝日）のインド株式市場（MSCIインド株式指数；現地通貨ベース）の下落と、対円でのインド・ルピー下落（円高）により、5%超の下落となりました。

<足もとの投資環境について>

新興国経済に大きな影響を与える米国金利は、米大統領選を控えた昨年9月半ば以降、現在まで上昇傾向となっています。当初は景気回復期待が主な上昇要因でしたが、インフレ率低下の鈍化傾向や労働指標の悪化が顕著に見られないことでややタカ派に転換した12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を境に利下げ期待が後退すると、一段と上昇しました。またトランプ政権発足後のインフレ率の再上昇懸念や財政赤字拡大懸念も上昇要因となり、年明け以降もその傾向が続いています。一方、インド経済や株式市場においては、昨年12月に発表された7-9月実質GDP（国内総生産）の5%台への減速、米国金利の上昇や規制強化、そして大手企業の不祥事等と相俟って海外投資家のインド株への楽観的な見方がやや後退しました。

今後につきましては、トランプ新政権やFRB（米連邦制度理事会）の共通認識が景気の下支えであることから米国金利の上昇には歯止めがかけられると期待されること、またインドの実質GDPの減速が政府支出の遅れや天候要因といった一時的要因であること、またRBI（インド準備銀行）が12月に預金準備率の引下げによる成長支援に向けた流動性緩和を発表したこと、そして大手企業を中心に高い利益成長率が引き続き予想されていること等、ファンダメンタルズは引き続き良好です。

インド政府は、1月末から2月初めにかけて2025年度（2025年4月-2026年3月）の予算案を発表します。中長期的な成長を牽引するインフラ関連投資の規模や財政健全化の方向性等を示すものと予想されています。足もとでは先行き不透明感に伴う変動が当面予想されますが、世界的に見ても相対的に高い経済成長が予想されるインド株への魅力が損なわれることはないと考えています。

■当資料は、「1月14日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



重要な注意事項：投資信託に関する留意点

お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する個々の費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面をご覧ください。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

【お申込みに際しての留意事項】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様の投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面を必ずご覧ください。

【ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます】

●投資信託に係る費用について

申込時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料（申込手数料） 上限3.85%（税抜3.5%）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限 0.3%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年1.98%（税抜1.8%）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■当資料は、「1月14日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

